

松本歯科大学病院総合口腔診療部門では、以下の研究を実施しています。この研究について詳細に知りたい方は、「問い合わせ先」までお問い合わせください。

また、この研究の研究対象者に該当すると思われる方で、ご自身の試料・情報を「この研究課題に利用（又は他の研究を行う機関に提供）してほしくない」と思われた方は、試料・情報の使用を拒否することができますので、「試料等の研究への利用に関する不同意書」をご提出ください。

研究の名称	医療面接演習の評価分析（後ろ向き調査）
研究責任者	松本歯科大学病院総合口腔診療部門 音琴 淳一
研究期間	2018年12月1日～2022年3月31日
研究の目的・概要	<p>歯科医学教育モデル・コア・カリキュラムにより、患者中心の医療を基本としてコミュニケーションスキル向上が求められています。松本歯科大学においては医療コミュニケーションあるいは医療面接学は第三学年の座学を受けて、第四学年において演習を行っています。さらに第五学年においては臨床実習で医療面接を実践している。一方では他の医療教育機関において医療コミュニケーション・医療面接教育が行われていますが、その結果を検証している研究は極めて少ないのが現状です。そこで、医療面接の教育効果を医療面接演習における評価をもとにして、今回、10年余にわたる過去の演習結果を検証し、将来の教育に反映することを目標としています。</p> <p>医療面接演習時に行う、医療面接における技能や態度評価による教育効果を検証することが本研究の目標です。</p>
利用又は他機関に提供する情報	2003～2017年度に実施した第四学年総合講義演習、第五学年臨床実習に参加した方を対象として、その評価シートから A) 実習による評価の変化が大きい評価項目、B) 実習による評価変化が小さい評価項目、C) 全体の総合評価、D) 評価者による評価の差異に分けて、医療面接技能や医療面接時の態度が実習によりどの程度効果があるかを判定します。
試料・情報の利用目的及び利用方法 (他の機関へ提供する場合はその方法を含む)	<p>診療録より、上記の情報を特定の個人を識別することができないものに匿名化し、必要な場合に研究対象者を識別することができるよう、対応表を作成します。</p> <p>匿名化した対応表は研究責任者の責任のもとに施錠されたキャビネットで厳重に保管します。</p>
試料・情報を利用する者の範囲	松本歯科大学病院総合口腔診療部門 音琴 淳一 伊能利之 高谷達夫 大木絵美 脇本仁奈
問い合わせ先	松本歯科大学病院総合口腔診療部門 音琴 淳一 電話：0263-52-3100